



東京ガス株式会社

2005年度中間決算説明会

2005年10月31日

このプレゼンテーションに掲載されている東京ガスの現在の計画、見通し、戦略、その他の歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた東京ガスの経営者の判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場、原油価格の変動ならびに天候の異変等があります。

2005年度中間決算の概要

中間決算総括(対前期実績)

対前中間期比 増収減益

< プラス要因 >

- ・ 低気温の影響による家庭用ガス販売量の増
- ・ 拡販によるガス販売量の増
- ・ コストダウンの推進

< マイナス要因 >

- ・ 料金引下げによる影響
- ・ 原油価格高騰に伴う原材料費の増

(億円未満切捨て)

	FY04 中間実績	FY05 中間実績	増減
売上高	5,141	5,344	+203(+4.0%)
営業利益	471	357	-114(-24.2%)
経常利益	444	324	-120(-26.8%)
中間純利益	274	221	-53(-19.3%)
為替(円/\$)	109.80	109.52	-0.28
原油(\$/bbl)	36.76	53.05	+16.29

営業利益増減要因

(単位:億円)

-114億円

内部取引相殺後
Total 471

内部取引相殺後
Total 357

ガス
-59

ガス器具
-1

受注工事
+1

不動産賃貸
+1

その他
-23

その他
63

不動産賃貸
34

ガス器具
32

ガス
645

受注工事
-1

FY04中間
(*Total 774)

- ・料金引下げの影響 (-)
- ・全用途におけるガス販売量の増(+)
- ・原料費調整制度による単価増(+)
- ・原油価格高騰に伴う原材料費の増(-)

- ・オンサイトエネルギーサービス、工業用ガスの売上げ増(+)
- ・TGクレジットサービスリース資産の増(-)

40

35

31

586

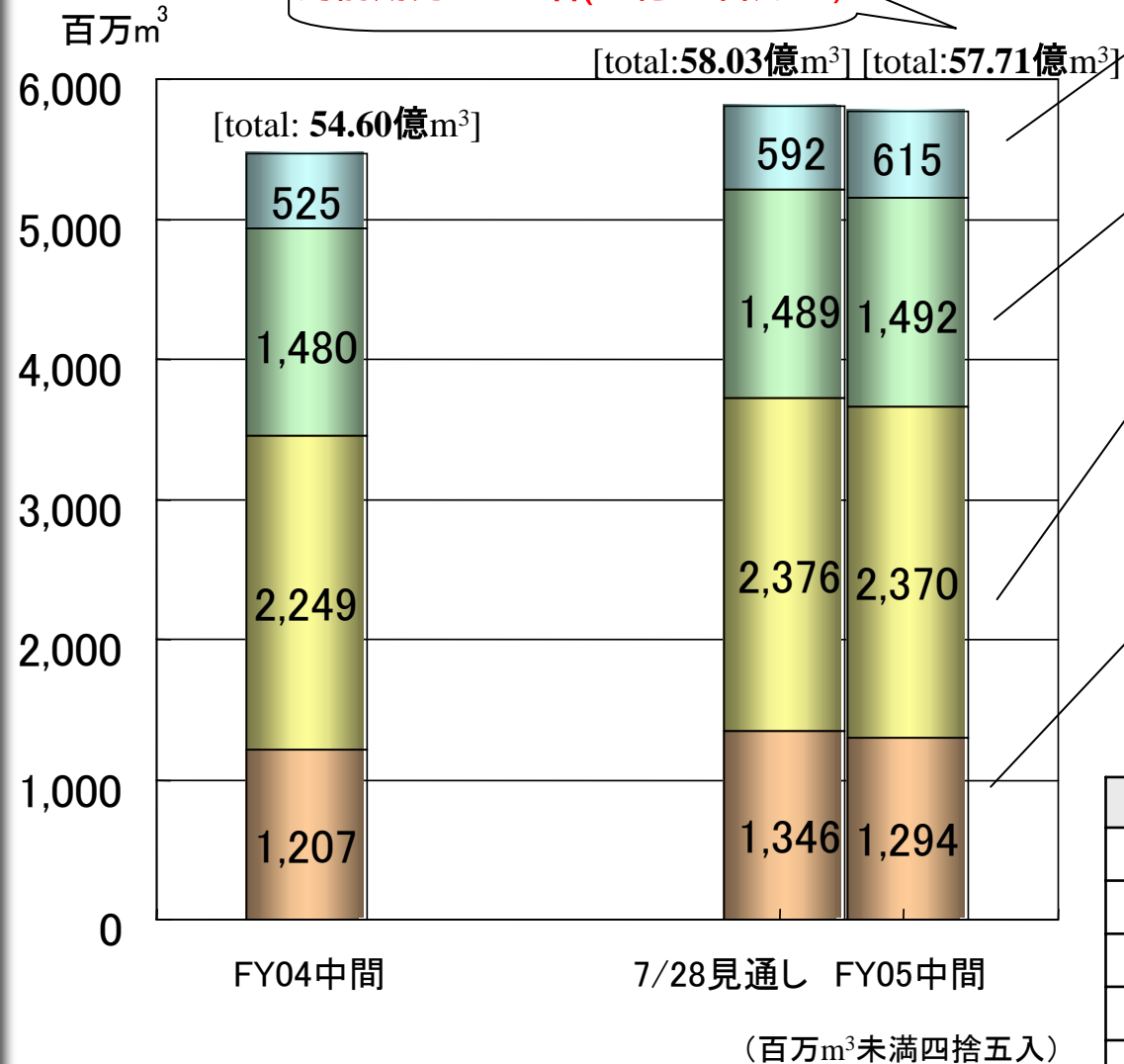
FY05中間
(*Total 692)

(*配賦不能営業費用を含まず)

ガス販売量実績(連結)

対前期比5.7%増(+3億11百万m³)

<FY04中間実績→FY05中間実績 増減要因>



卸供給 +17.1% (+90百万m³)
 ・供給先事業者の新規需要の開発等

商業用その他 +0.8% (+12百万m³)
 ・低気温の影響(上期平均-1)による空調需要の減
 ・新規需要の開発等

工業用 +5.4% (+121百万m³)
 ・発電専用向け需要の減少
 ・新規需要の開発および既存物件の順調な稼働

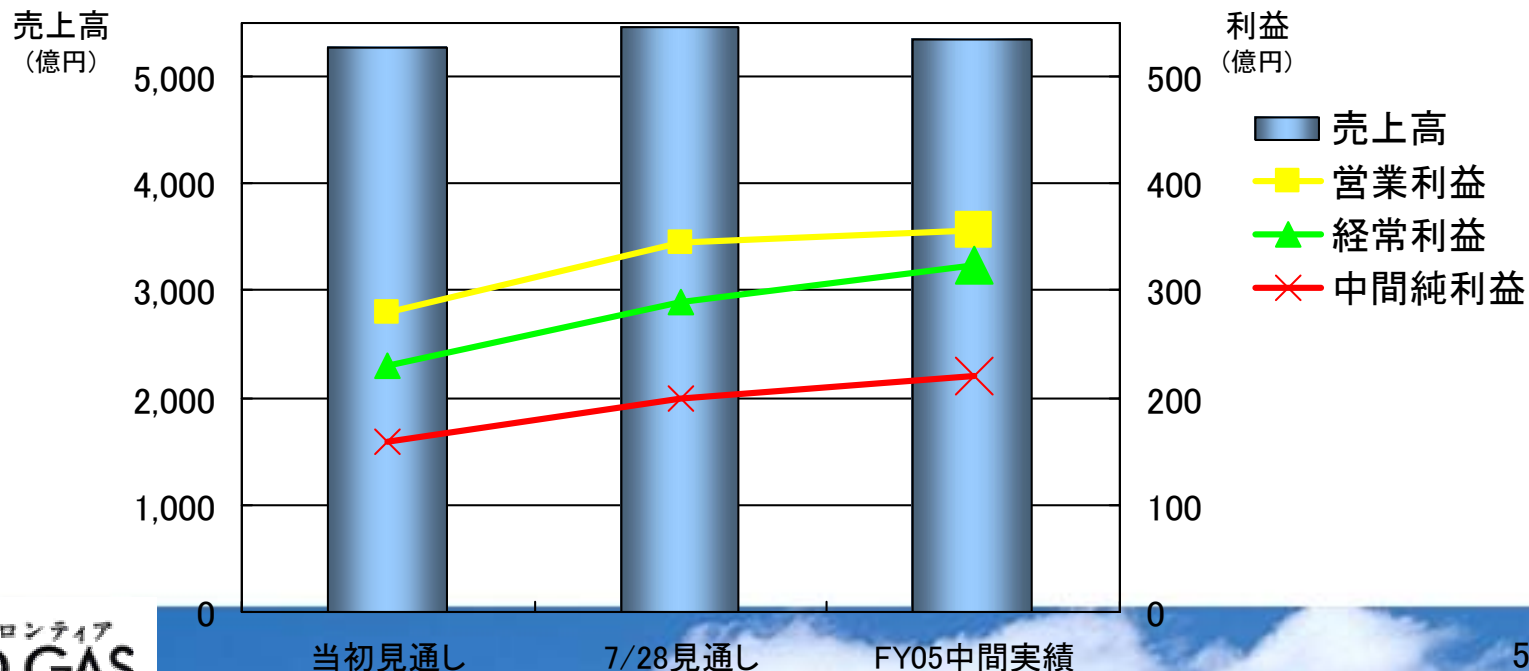
家庭用 +7.3% (+87百万m³)
 ・低気温(上期平均-1℃)による給湯需要の増

(参考)	7/28見通し	FY05中間実績	対7/28増減	
家庭用	1,346	1,294	-52	-3.9%
工業用	2,376	2,370	-6	-0.3%
商業用その他	1,489	1,492	+3	+0.2%
卸供給	592	615	+23	+3.9%
合計	5,803	5,771	-32	-0.6%

中間決算総括(対見通し)

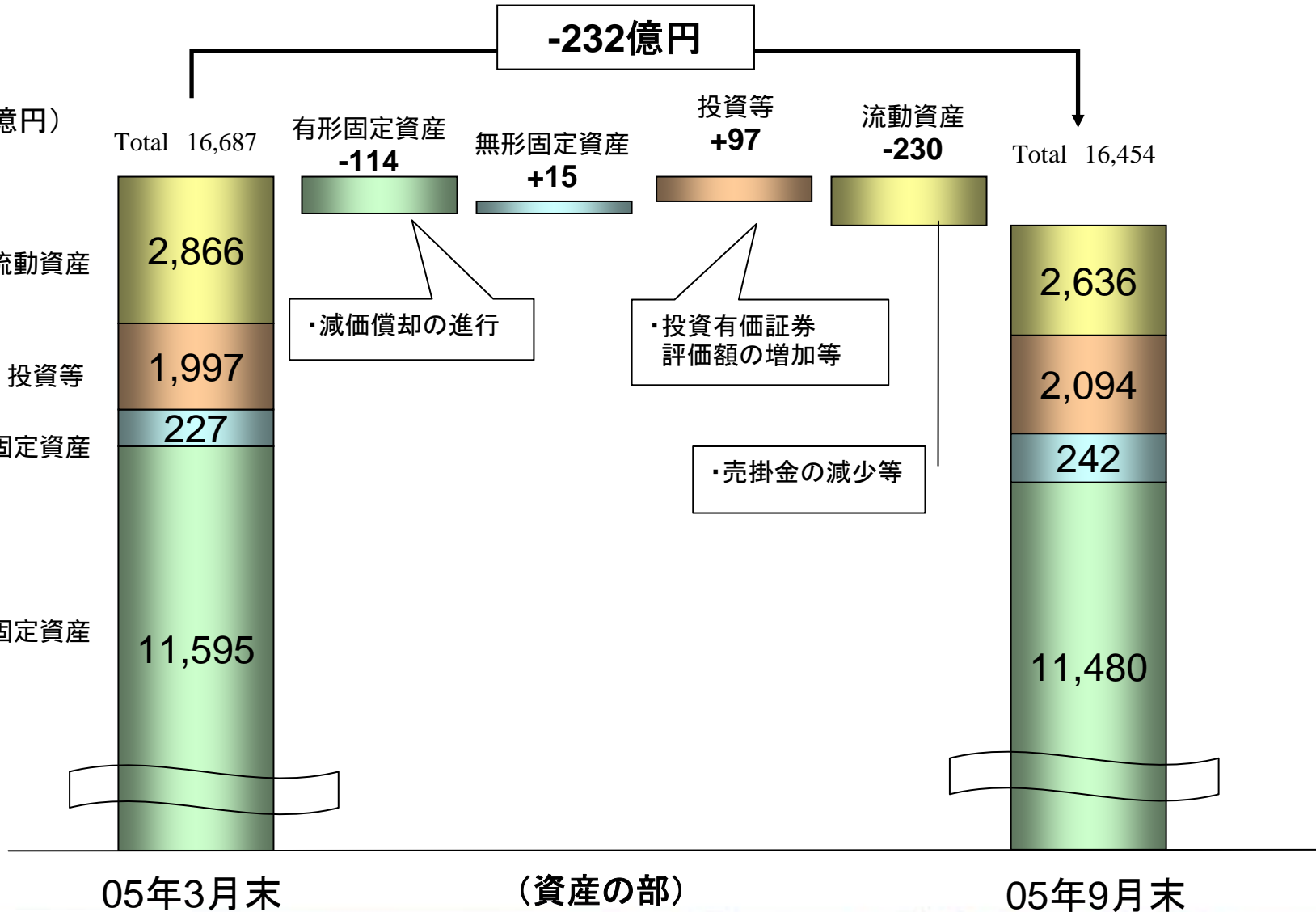
(億円未満切捨て)

	当初見通し	7/28見通し	FY05中間実績	対当初	対7/28
売上高	5,270	5,460	5,344	+74(+1.4%)	-116(-2.1%)
営業利益	280	345	357	+77(+27.5%)	+12(+3.5%)
経常利益	230	290	324	+94(+40.9%)	+34(+11.7%)
中間純利益	160	200	221	+61(+38.1%)	+21(+10.5%)
為替(円/\$)	105.00	108.85	109.52	+4.52	+0.67
原油(\$/bbl)	40.00	49.84	53.05	+13.05	+3.21



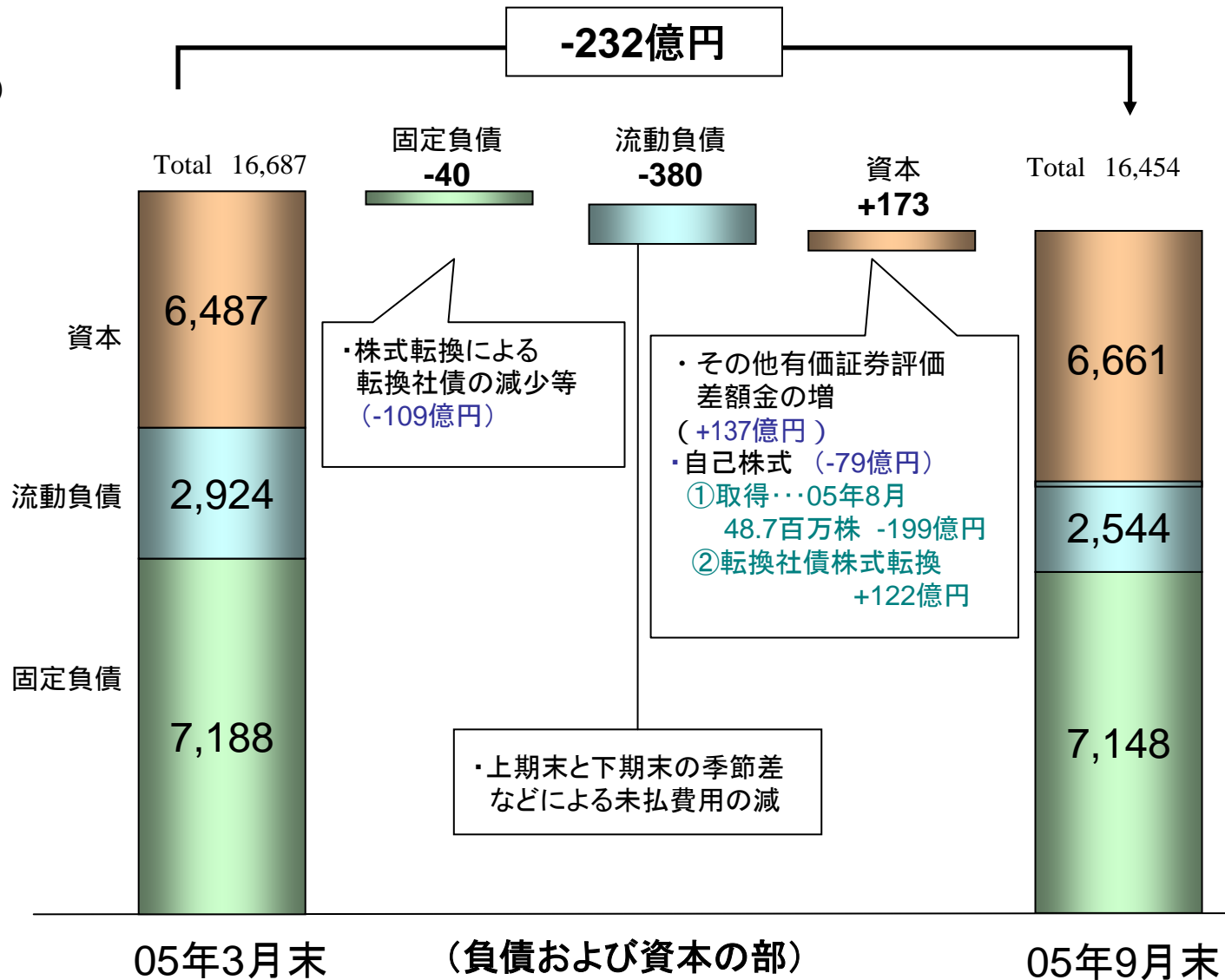
BS増減要因(資産の部)

(単位:億円)



BS増減要因(負債および資本の部)

(単位: 億円)



2005年度通期収支の見通し

通期見通し(対見通し)

対第1四半期発表時見通し比 減収減益

< プラス要因 >

- ・コストダウン努力、減価償却費減少に伴う固定費の減
- ・エネルギーサービス事業等の収支改善

< マイナス要因 >

- ・家庭用、工業用におけるガス販売量の減
- ・原油価格高騰に伴う原材料費の増

■単体経常利益 対第1Q見通し比 要因分析

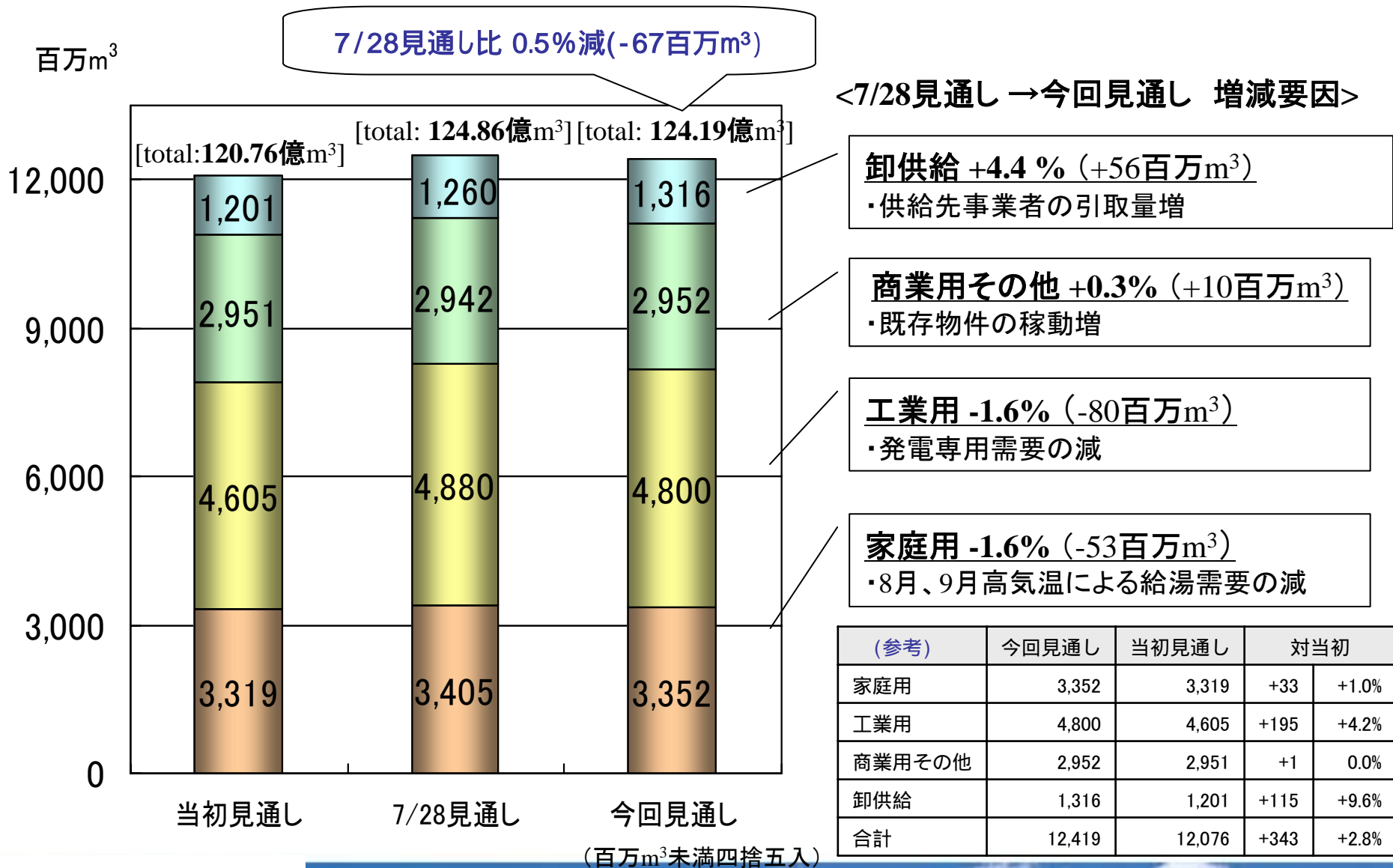
スライドタイムラグによる収支悪化	▲54億円
販売量減によるガス粗利の減	▲68億円
器具販売収支の改善等	+5億円
固定費の減	+37億円
営業外収支改善	+10億円

単体経常利益 960億円→890億円 ▲70億円

(億円未満切捨て)

	当初見通し	7/28見通し	FY05 今回見通し	対当初	対7/28
売上高	12,040	12,510	12,480	+440(+3.7%)	-30(-0.2%)
営業利益	1,140	1,130	1060	-80(-7.0%)	-70(-6.2%)
経常利益	1,040	1,040	990	-50(-4.8%)	-50(-4.8%)
当期純利益	680	680	670	-10(-1.5%)	-10(-1.5%)
為替(円/\$)	105.00	109.42	109.74	+4.74	+0.32
原油(\$/bbl)	38.00	49.92	53.93	+15.93	+4.01
気温(°C)	17.0	16.8	16.7	-0.3	-0.1

ガス販売量見通し(連結・対見通し)



通期見通し(対前期実績)

対前期比 増収減益

< プラス要因 >

- ・全用途における販売量増によるガス売上げ増
- ・原料費調整制度による単価増

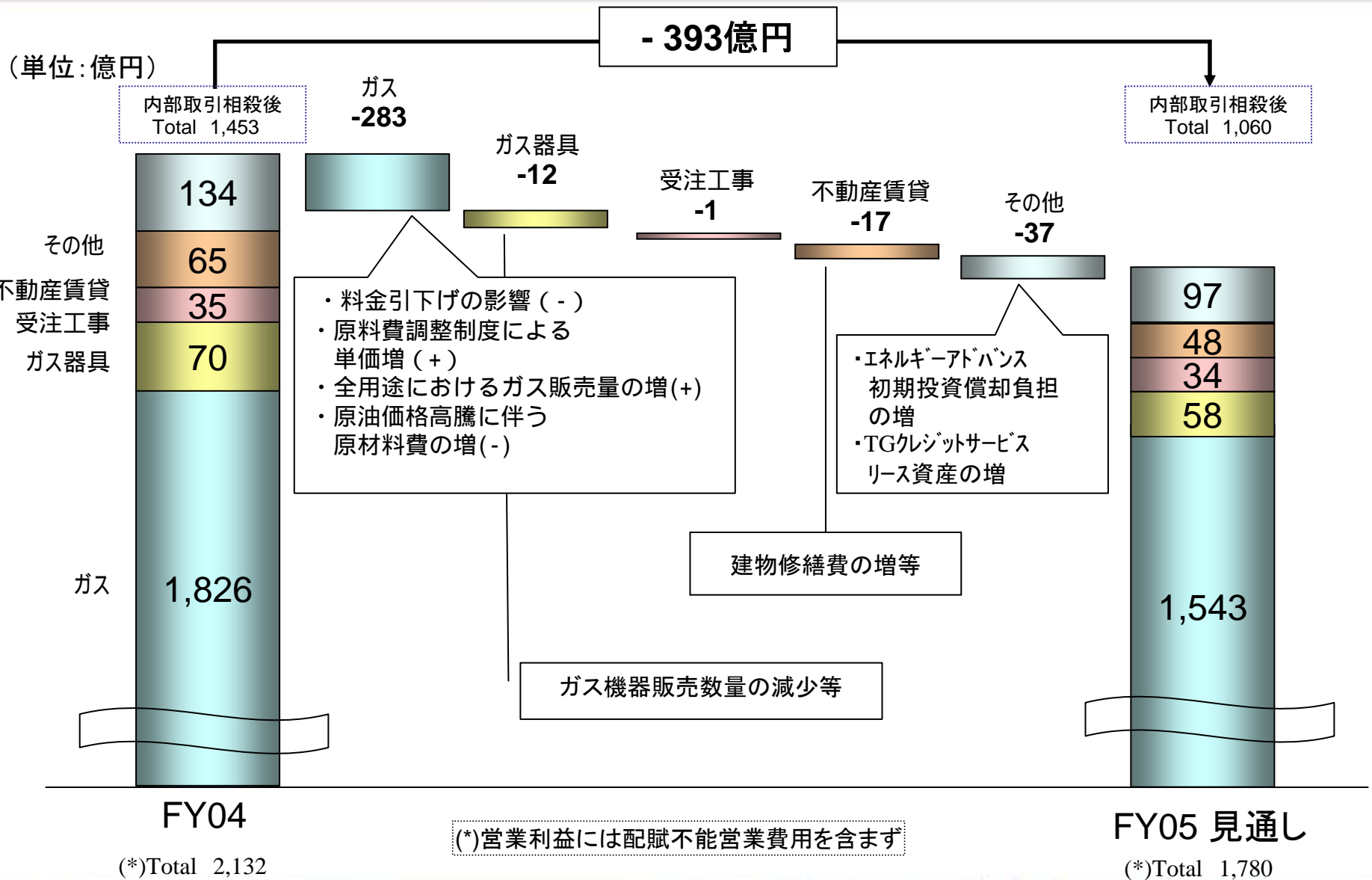
< マイナス要因 >

- ・料金引下げによる影響
- ・原油価格高騰に伴う原材料費の増
- ・退職手当増などによる諸給与増

(億円未満切捨て)

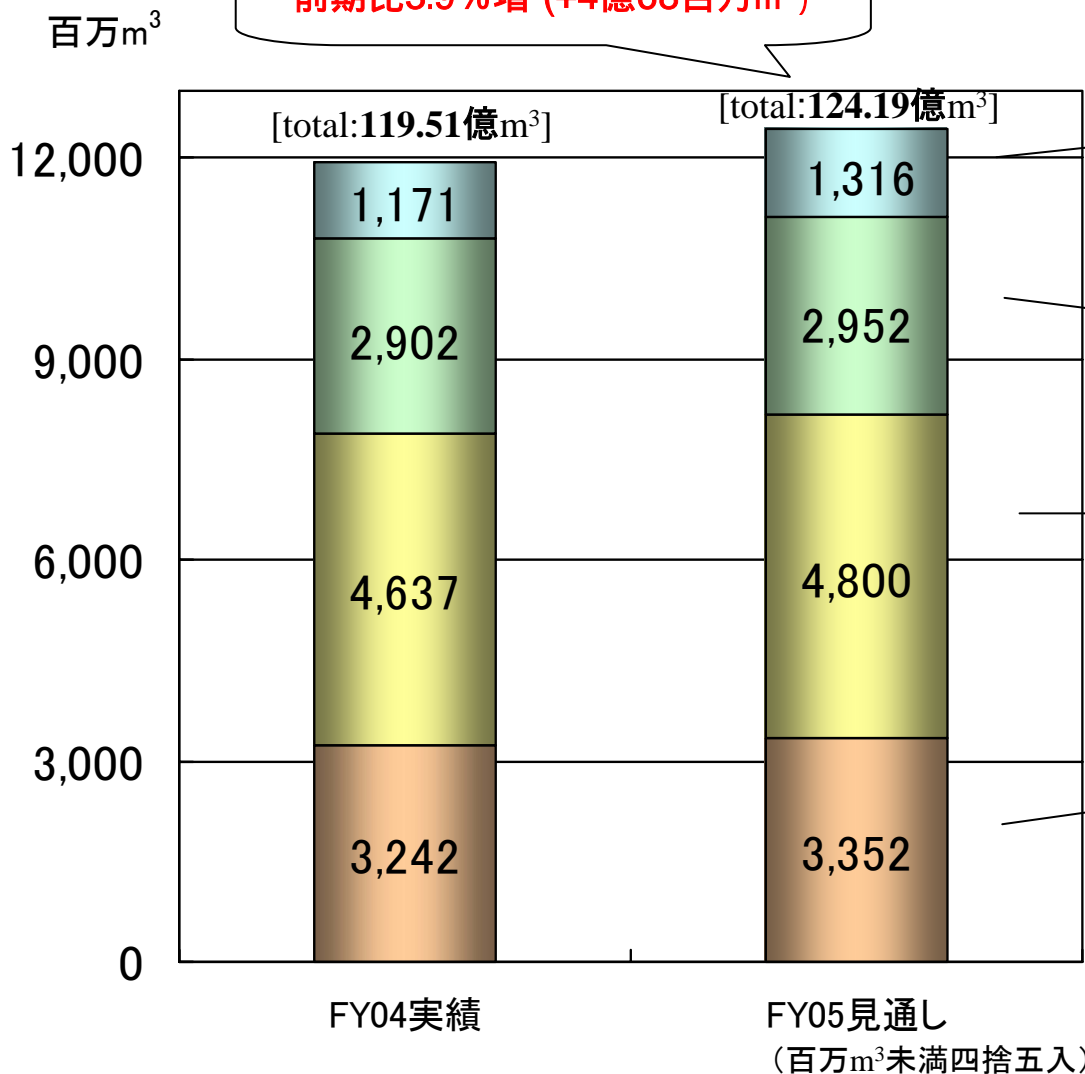
	FY04実績	FY05今回見通し	増減
売上高	11,907	12,480	+573(+4.8%)
営業利益	1,453	1,060	-393(-27.1%)
経常利益	1,328	990	-338(-25.5%)
当期純利益	840	670	-170(-20.3%)
為替(円/\$)	107.55	109.74	+2.19
原油(\$/bbl)	38.77	53.93	+15.16
気温(°C)	17.1	16.7	-0.4

営業利益増減要因



ガス販売量見通し(連結・対前期実績)

前期比3.9%増 (+4億68百万m³)



<FY04実績 → FY05見通し 増減要因>

卸供給 +12.4% (+145百万m³)

・供給先事業者の新規需要の開発等

商業用その他 +1.7% (+50百万m³)

・新規需要の開発および既存物件の順調な稼働

工業用 +3.5% (+163百万m³)

・発電専用向け需要の減少
・新規需要の開発および既存物件の順調な稼働

家庭用 +3.4% (+110百万m³)

・上期低気温の影響による給湯需要の増
・お客さま件数の増

参考資料

主要計数表(中間期-①)

(億円)

	FY04 中間実績	当初 見通し	7/28 見通し	FY05 中間実績	対前期	対当初	対7/28
売上高	5,141	5,270	5,460	5,344	+4.0%	+1.4%	-2.1%
営業利益	471	280	345	357	-24.2%	+27.5%	+3.5%
経常利益	444	230	290	324	-26.8%	+40.9%	+11.7%
中間純利益	274	160	200	221	-19.3%	+38.1%	+10.5%
EPS(円)	10.22	-	-	8.39	-1.83	-	-
TEP	96	-	-	36	-60	-	-
ガス販売量(百万m ³)	5,460	5,583	5,803	5,771	+5.7%	+33.6	-0.6%
為替(円/US\$)	109.80	105.00	108.85	109.52	-0.28	+4.52	+0.67
原油(\$/bbl)	36.73	40.00	49.84	53.05	+16.32	+13.05	+3.21

主要計数表(中間期-②)

(億円)

	FY04 中間実績	当初 見通し	7/28 見通し	FY05 中間実績	対前期	対当初	対7/28
総資産(a)	16,687	-	-	16,454	-1.4%	-	-
株主資本(b)	6,487	-	-	6,661	+2.7%	-	-
株主資本比率(b)/(a)	38.9%	-	-	40.5%	+1.6%	-	-
有利子負債残高	6,241	-	-	6,376	+135	-	-
利益キャッシュフロー(c)	274	160	200	221	-19.3%	+38.1%	+10.5%
投資キャッシュフロー (d)=(f)-(e)	205	170	180	108	-47.1%	-36.5%	-40.0%
設備投資(e)	481	510	500	542	+12.7%	+6.3%	+8.4%
減価償却(f)	687	680	680	651	-5.2%	-4.3%	-4.3%
フリーキャッシュフロー (c)+(d)	480	330	380	330	-31.2%	±0%	-13.2%
ROA : (c) / (a)	1.6%	-	-	1.3%	-0.3%	-	-
ROE: (c) / (b)	4.6%	-	-	3.4%	-1.2%	-	-

(注) 前期実績数値はBS系の項目は前期末数値を表示

ROA=当期純利益/総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益/株主資本(期首・期末平均)

EPSの分母は期中平均株数

フリーキャッシュフロー=[利益キャッシュフロー(当期純利益)]+[投資キャッシュフロー-[(減価償却費)-(設備投資)]

主要計数表(通期-①)

(億円)

	FY04 実績	当初 見通し	7/28 見通し	FY05 見通し	対前期	対当初	対7/28
売上高	11,907	12,040	12,510	12,480	+4.8%	+3.7%	-0.2%
営業利益	1,453	1,140	1,130	1,060	-27.1%	-7.0%	-6.2%
経常利益	1,328	1,040	1,040	990	-25.5%	-4.8%	-4.8%
純利益	840	680	680	670	-20.3%	-1.5%	-1.5%
EPS(円)	31.47	25.63	-	25.41	-6.06	-0.22	-
TEP	505	289	289	290	-215	+1	+1
ガス販売量(百万m ³)	11,952	12,076	12,486	12,419	+3.9%	+2.8%	-0.5%
為替(円/US\$)	107.55	105.00	109.42	109.74	+2.19	+4.74	+0.32
原油(\$/bbl)	38.77	38.00	49.92	53.93	+15.16	+15.93	+4.01
気温(°C)	17.1	17.0	16.8	16.7	-0.4	-0.3	-0.1

主要計数表(通期-②)

(億円)

	FY04 実績	当初 見通し	7/28 見通し	FY05 見通し	対前期	対当初	対7/28
総資産(a)	16,687	16,170	16,170	16,530	-0.9%	+2.2%	+2.2%
株主資本(b)	6,487	6,740	6,740	6,730	+3.7%	-0.1%	-0.1%
株主資本比率(b)/(a)	38.9%	41.7%	41.7%	40.7%	-1.8%	-1.0%	-1.0%
有利子負債残高	6,241	6,100	6,100	6,000	-241	-100	-100
利益キャッシュフロー(c)	840	680	680	670	-20.3%	-1.5%	-1.5%
投資キャッシュフロー (d)=(f)-(e)	327	80	80	20	-93.9%	-75.0%	-75.0%
設備投資(e)	1,075	1,340	1,340	1,340	+24.6%	±0%	±0%
減価償却(f)	1,402	1,420	1,420	1,360	-3.0%	-4.2%	-4.2%
フリーキャッシュフロー (c)+(d)	1,167	760	760	690	-40.9%	-9.2%	-9.2%
ROA : (c) / (a)	5.0%	4.1%	4.1%	4.0%	-1.0%	-0.1%	-0.1%
ROE: (c) / (b)	13.5%	10.3%	10.3%	10.1%	-3.4%	-0.2%	-0.2%

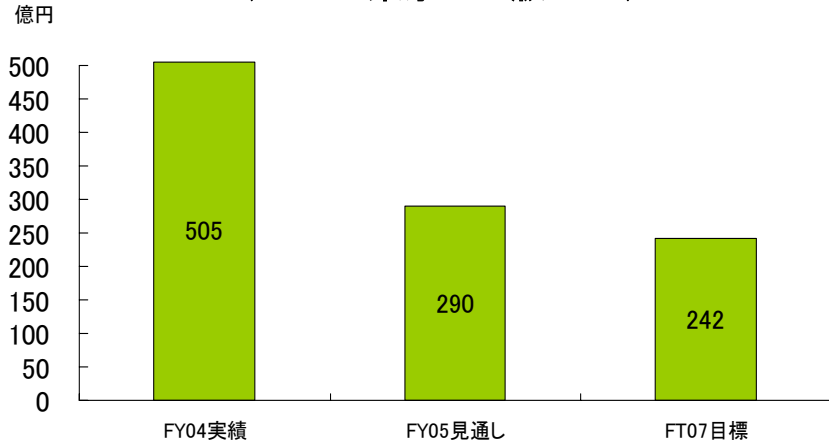
(注) ROA=当期純利益／総資産(期首・期末平均), ROE=当期純利益／株主資本(期首・期末平均)

EPSの分母は期中平均株数

フリーキャッシュフロー=[利益キャッシュフロー(当期純利益)]+[投資キャッシュフロー-[(減価償却費)-(設備投資)]

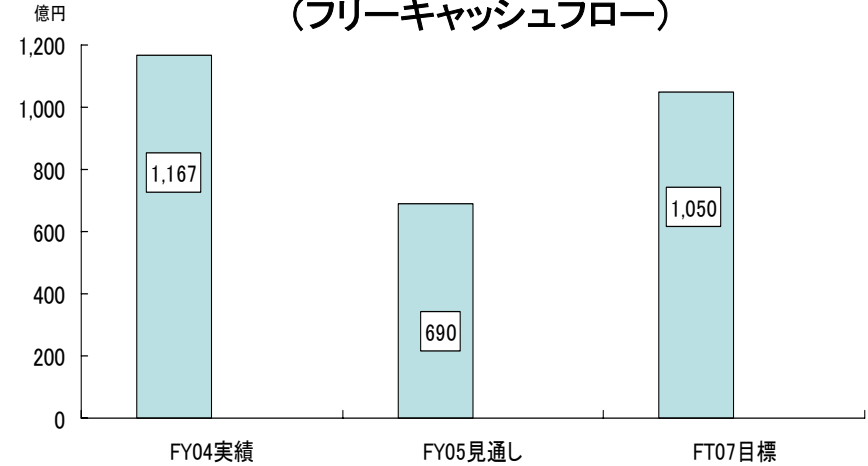
主要経営目標の見通し

(TEP≒東京ガス版EVA)



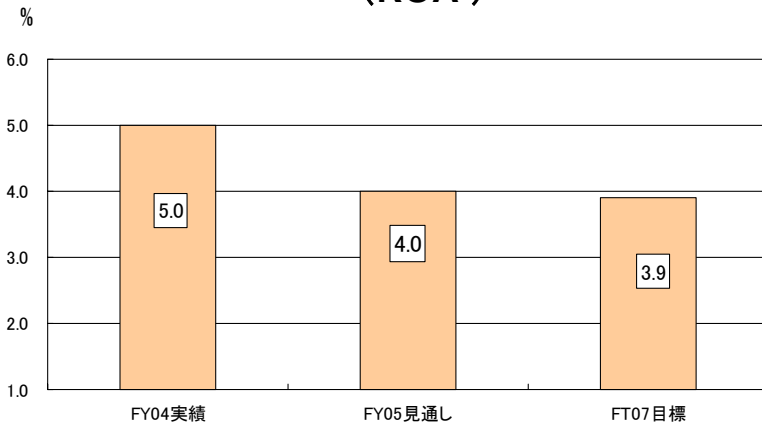
■ TEP=税引後・利払前利益 - 資本コスト (投下資本 × WACC)
 ・ WACC FY04実績:3.6% FY05見通し3.7% FY07目標:3.6%

(フリーキャッシュフロー)



■ FCF=当期利益+長前込み減価償却費-設備投資

(ROA)



■ ROA=当期利益/総資産(期首・期末平均)

(有利子負債残高)

